

都市再生整備計画 事後評価シート
丸岡地区

平成27年3月
福井県 坂井市

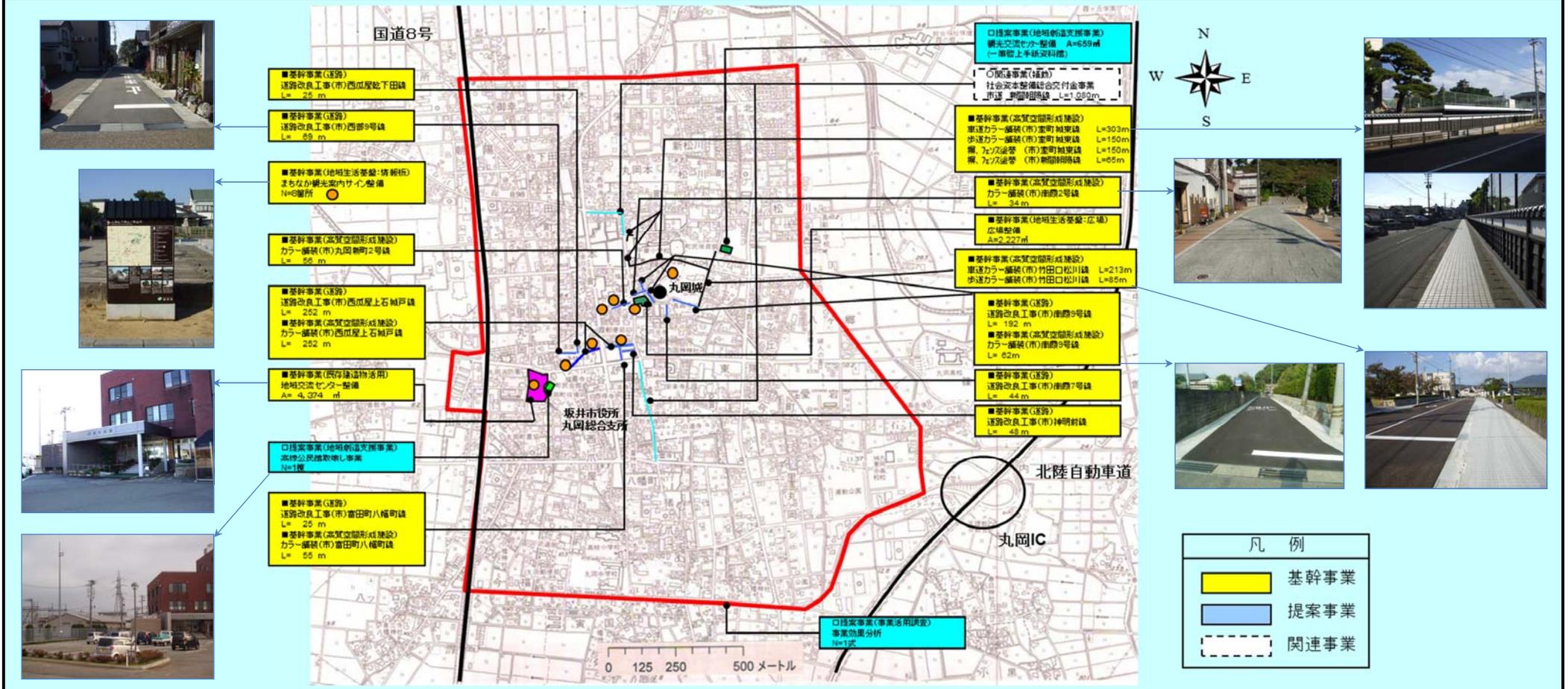
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	坂井市		地区名	丸岡地区			面積	274ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	1,308百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道西瓜屋上石城戸線、市道富田町八幡町線、市道南霞9号線 【地域生活基盤】お天守前広場、まちなか観光案内サイン 【高質空間】市道西瓜屋上石城戸線、市道富田町八幡町線、市道南霞9号線、市道南霞2号線、市道丸岡新町2号線 【既存建物活用】地域交流センター										
		提案事業	【地域創造支援事業】高椋公民館取壊し 【事業活用調査】事業効果分析										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】市道南霞7号線、市道神明前線、市道西部9号線、市道西瓜屋乾下田線		目標をより良く達成するため			全ての指標に関係するが、数値目標は据え置く					
提案事業		【地域創造支援事業】観光交流センター整備(一筆啓上手紙資料館)		目標をより良く達成するため			全ての指標に関係するが、数値目標は据え置く						
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし						
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
	指標1	丸岡城を訪れる観光客数	人/年	319,700	H20	333,700	H26		345,600	○	あり	事業実施により観光地としての環境が向上したことによって、丸岡城を訪れる観光客数の増加に結び付いているものと考えられる。	H27年12月
	指標2	地域交流センターの利用回数	回/年	2,007	H20	2,340	H26		3,300	○	あり	機能拡充によって新たな活動が可能になったことや、駐車場が拡大され利便性が向上したこと等が増加要因と考えられる。	H27年12月
指標3	丸岡城周辺まちなかの歩行者等数	人・台/日	218	H21	273	H26		303	○	あり	道路整備によって安心して歩ける環境が高まったことに加え、広場や情報版の整備による歩きやすくなる環境の向上、道路・塀・フェンスの美化によるまちなみ景観の向上が増加要因と考えられる。	H27年12月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備(側溝整備)を実施することで、歩行空間が拡大し、歩行者と自転車の通行がしやすくなり、歩行者・自転車通行量への効果があった。 高椋公民館(地域交流センター)の整備により、地域活動の場が広がり活発な活動が展開されるようになった。 新たな交流の機会が増えたことに伴ってコミュニティの強化が図られ、地域住民の活動が増加した。 丸岡城周辺の道路美化、板塀設置、広場整備に伴う物件移転等で景観、眺望が向上したことで、新たな誘客イベントが企画されるようになった。 												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	①まちづくり協議会と市との協議(高椋公民館改修についての意見交換) ②まちづくり協議会と市との協議(板塀設置について意見交換) ③まちづくり協議会と市との協議(広場整備についての意見交換) ④広報の発行による啓発活動			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ -				
持続的なまちづくり体制の構築	①既存のまちづくり協議会の活性化 ②公民館のコミュニティセンター化を目的とした、まちづくり体制検討組織の設立			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 組織・管理運営について地域協議会、まちづくり協議会等と委員会を設け体制づくりを検討し、平成27年4月1日よりコミュニティセンターに移行する予定である。					

様式2-2 地区の概要

丸岡地区(福井県坂井市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:『丸岡地区のシンボルである丸岡城を活かしたにぎわいのあるまちづくり』	丸岡城を訪れる観光客数	人/年	319,700 H20	333,700 H26	345,600 H26
目標1:丸岡城下を整備し地区としての魅力を高め、丸岡城を核とした賑わいづくりを図る	地域交流センターの利用回数	回/年	2,007 H20	2,340 H26	3,300 H26
目標2:道路整備により観光客、地域住民の安心快適性の向上を図る	丸岡城周辺まちなかの歩行者等数	人・台/年	218 H21	273 H26	303 H26
目標3:協働のまちづくりを支える環境を整備し、地域のコミュニティの活性化を図る					



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市街地を歴史が感じられるまちなみとして整備したことによって、観光拠点である丸岡城の魅力が向上した。また、道路拡幅や側溝整備によって安心して歩ける環境が整ったため、回遊性の確保も実現された。 ・高松公民館をリニューアルして地域交流センターを整備したことによって、地域住民の交流の中心となる場が創出された。 ・一体的なまちづくり計画に基づいて、都市基盤および施設の整備を進めたことによって、地域の観光・交流拠点を結び動線が確保された。 ・道路拡幅・側溝整備により歩行空間が拡大したことに加え、道路の美装化によって視認性も高まり、道路の歩行安全性が向上した。 ・丸岡城周辺で行われるイベント時の駐車場の確保が新たな課題となっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な観光スポット・イベントの創出 ・地域独自の特色を生かした文化と歴史を融合した新しい観光スポット(一筆啓上手紙資料館)の整備や、イベント・企画の促進を図る。 ・ソフト施策による効果の持続・課題解決 ・地域コミュニティの強化を図りながら、住民主体のソフト施策の実施によって、観光地としての魅力的な環境創出や地域住民の交流促進、回遊性の向上等の効果の持続や課題解決を図る。